

Project for Improving Learning Outcomes through Community Participation for Sustainable School for All (COMPASS)

「ガーナ国みんなの学校：コミュニティ参加型学習改善支援プロジェクト」では、コミュニティの積極的な参画による学校マネジメントの強化と、生徒の学習成果改善を目標としています。民主的に選ばれた学校運営委員会（SMC）と、SMC連合*が学校や教育事務所と協力し、生徒の学力向上につながる様々な活動を行っています。今回は、プロジェクトの終盤に行われた活動のいくつかを紹介します。
*SMC連合は、SMC同士の協働と、中央・州・郡教育事務所との連携を目的に2022年に設立されました。

プロジェクト実施期間：2020年3月～2024年3月 対象地域：イースタン州、ボルタ州、オチ州

2023年10月に起きたボルタ川決壊による洪水は、ボルタ州3郡（South Tongu, Central Tongu, North Tongu）に大きな被害をもたらしました。COMPASS対象校16校を含む多くの学校が浸水し、教材などが水に流されました。子供たちの継続した学びを支援するため、プロジェクトは被災した52校に、約7,500冊の算数ワークブック（レベル1~8）を支給しました。

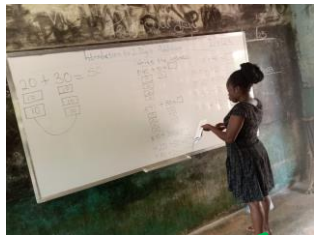
他の援助団体から様々な救援物資が支給される被災地で、学びの支援に特化した物資は例がないと、現地の学校や住民に歓迎されました。SMCと学校が行う補習授業での利用のほか、小学1~2年生相当のレベル1~3のワークブックは、通常授業内でも活用していくことが、2023年7月の教育フォーラムにて参加者に合意されています。

Volta州教育事務所所長（左）からNorth Tongu郡教育事務所所長（右の女性）へワークブックが手渡される様子



プロジェクトが開発したワークブックは生徒個々に配布するスタイルであるため、印刷費用が多くSMCにとって課題でした。そこで、板書形式のワークブックを試作し、イースタン州Upper Manya Krobo郡にてパイロット活動を行いました。ファシリテーターが問題を板書し、生徒がノートに書き写し問題を解く手法で、教材の印刷費を大幅に削減しました。

2023年11月から12月の約1か月間で、レベル4（2桁までの足し算）クラスは平均2.1点、レベル5（2桁までの引き算）クラスは平均1.2点の向上が見られました。レベル3相当の生徒を含めると、平均2.0点の向上という結果でした。試作段階ではあるものの、補習授業を継続するひとつの形として、板書ワークブックレベル4,5のデータは、対象全ての郡教育事務所に共有されました。



板書された問題をノートで解く。



採点と、必要に応じた説明。



クラウドファンディング終了！

イースタン州Okere郡SMC連合Aによるクラウドファンディングは、総額722.98USDを動員し、2023年12月、机と椅子20セットを購入し、学校に配布しました。この活動に刺激を受けた郡議会が、郡内の小学校に500セットの机と椅子を支給するなど、地域のリソースが活用される好事例となりました。



今後の展望

「COMPASSモデル」が教育省とガーナ教育サービス(GES)関係者に承認され、4年間のプロジェクトが終了しました。今後は、プロジェクトメンバーであった中央講師やマスター講師が中心となり、アクションプランを実行することで、SMCの機能と生徒の学力維持向上に努めると同時に、モデルの他州への展開も見据えて活動していきます。

「COMPASSプロジェクトは、革新的でした。2020年以降、ガーナの初等教育における算数の学びに、大きな変化をもたらしました。コミュニティの参画により、SMCの活動が活発化したことによるものです。今後のガーナの初等・中等教育の算数学力の向上は、非常に有望です。JICAとプロジェクトの協力を感謝します。」

プロジェクト・オペレーション・チーム・リード 兼 中央講師：Bright氏

